

令和6年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名 立憲いばらき

政務活動の主な内容、成果等

1. 県民が安心できる医療政策の実現をめざす活動

- ① 目的：県内の医療体制について調査し、保健医療政策への反映や県民生活の安定を図る。
- ② 活動時期：令和6年4月から令和7年3月
- ③ 活動内容：本県の地域医療の動向を踏まえ、保健医療政策のあり方を調査・研究するとともに、医療関係者や県民へのヒアリングを実施し、積極的な政策提言につなげた。
- ④ 成果等：上記の活動を基に、本会議で一般質問を行った。また、執行部に対する政策提案書に取り組むことにより、更なる保健医療体制確保等をめざす政策活動を実施した。

<令和6年4定・一般質問>

- ・命を守るための医師の地域偏在の解消について

<令和7年1定・一般質問>

- ・持続可能な国民健康保険制度のための県と市町村の役割分担と県民向けの健康づくりについて
- ・虫歯予防と歯周病予防のための取組の推進について

<2024年度政策提案書> 2024年12月11日提出

- ・マイナンバーカードによる医療機関での資格確認について、利用率が低迷し、様々なトラブルも発生している状況に鑑み、現行通り保険証の使用を可能とするよう政府に対し働きかけること。
- ・地域における質の高い医療提供体制を構築するため、医師を含めた医療従事者の働き方改革の取り組みに対して本県独自の数値目標を示した上で、医師確保をはじめとする必要な支援策に取り組むこと。
- ・2024年度の診療報酬改定で創設されたベースアップ評価料の円滑な制度運用に向け、届出書類の簡素化、及び全ての職種への適用を政府に要望すること。
- ・難病者に寄り添った支援を拡充するとともに、県内で臓器移植可能な医療機関の整備を図ること。
- ・透析医療の災害対応について一層の充実を図るとともに、その検討過程において当事者団体の参加を図ること。また、透析患者の介護施設受入を促進する取り組みを進めること。
- ・国保組合が行う特定検診と特定保健指導について、県は市町村国保と同様の公費助成を確立すること。
- ・老朽化した県立中央病院および県立こども病院については、それぞれ現在地において早期建て替えを進めること。
- ・自殺の未然防止に向け、県が実施する各種相談に可能な限りチャット方式を併設するとともに、自死遺族へのフォロー体制を充実させること。
- ・管理栄養士の人材確保を図るため、処遇改善に必要な措置を講じること。また、災害時の保健活動において避難所での食事提供や栄養管理などを円滑に実施するための体制整備を図ること。

2. 誰もが安心して暮らせる茨城をめざす活動

(1) 性暴力の根絶について

- ① 目的：性暴力を根絶し、安心安全に暮らせる県づくりのため、県民への理解促進や被害者支援策、総合的な施策推進を図る。
- ② 活動時期：令和6年4月から令和7年3月
- ③ 活動内容：先進自治体への視察や関係者との意見交換を踏まえ、県内の女性議員や被害に遭った当事者の方々と連携し、積極的な政策提言につなげた。
- ④ 成果等：上記の活動を基に、本会議で一般質問を行った。

<令和6年4定・一般質問>

- ・学校で性暴力が発生したときの被害生徒、加害生徒への対応について

<令和7年1定・一般質問>

- ・ストーカーと性暴力の根絶に向けた未然防止策について

(2) ジェンダー平等・性的マイノリティに関する課題について

- ① 目的：セクシュアリティに関わりなく、誰もが自分らしく生活できる県政の実現をめざす。
- ② 活動時期：令和6年4月から令和7年3月
- ③ 活動内容：本県におけるジェンダーに関する状況や施策について、県や市町村の担当部署および当事者団体からのヒアリングを行うとともに、先進自治体の施策について調査を行った。
- ④ 成果等：上記の活動を基に、本会議で一般質問を行った。また、執行部に対する政策提案書に盛り込んだ。

<令和6年4定・一般質問>

- ・男女の所得格差を縮小するための学校教育におけるキャリア教育と夢を実現する奨学金等の支援制度について

<2024年度政策提案書> 2024年12月11日提出

- ・いばらきパートナーシップ宣誓制度について、他自治体との更なる連携協定の促進を図ること。また、性的指向や性自認に関する差別をなくすための啓発活動を更に進めること。
- ・女性の生涯自立を目指したキャリア教育や、男性の育児家事参加を含むジェンダー平等に関する教育を一層推進すること。

3. 安心・安全な食の実現をめざす活動

- ① 目的：無農薬による農業推進と安心・安全な学校給食を実現するため、地産地消のオーガニック食材を使った給食の拡充をめざす。
- ② 活動時期：令和6年4月から令和7年3月
- ③ 活動内容：茨城オーガニック学校給食プロジェクトや生産農家と連携し、関係団体や行政との意見交換を行なった。
- ④ 成果等：令和4年度からのいばらきオーガニックステップアップ事業、および令和5年度からの有機農業推進関連事業を踏まえ、議会質問や執行部に対する政策提案書に繋げることで、一層の事業推進に取り組んだ。

<令和 6 年 4 定・一般質問>

- ・有機栽培の農業者の育成と生産拡大について

<2024 年度政策提案書> 2024 年 12 月 11 日提出

- ・有機栽培の農業をさらに推進し、農業者への支援を拡充すること。
- ・学校給食に使用する食材等について、段階的に有機無農薬の食材に切り替えること。また、遺伝子組み換えおよびゲノム編集された作物を使わないこと。